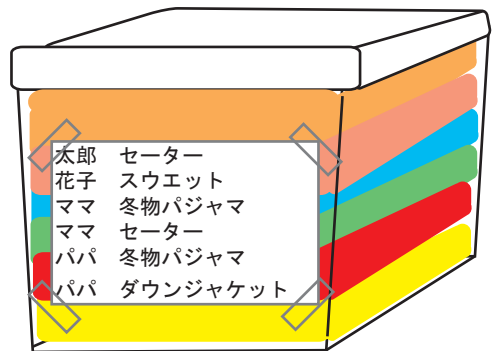
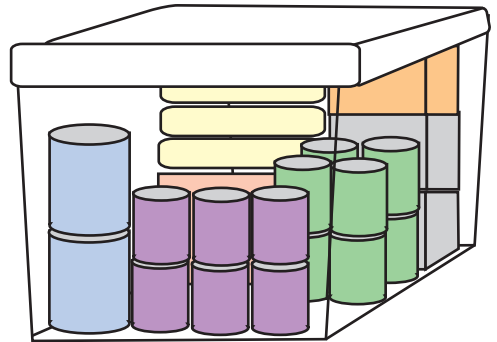


ストックプレート付ケース

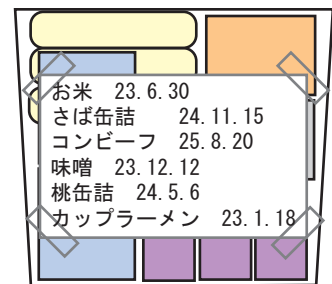
従来の衣装ケース（収納ボックス）では内容物の入れ替えが半年に一回程度のペースで、一度入れたものを入れ替える作業はほぼ無かった。そのため内容物の表記は一枚の紙に記載して貼りつければ事足りた。



昨今の災害不安に伴い非常食の備蓄が一般化している。その保管に中身が見えて丈夫な衣装ケース（収納ボックス）が使われている。



衣類のように中身の明細（含賞味期限）を記載しているとローリングストック（賞味期限が近づくと食べて新たな商品を備蓄する）のために更新作業が必要になる。

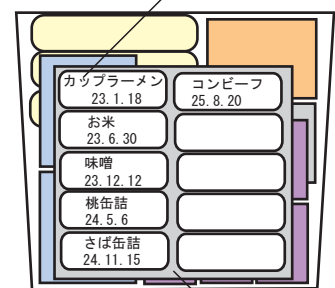


ストックプレート付ケースのご提案

衣装ケース（収納ボックス）の側面（押入れに入れた際に正面に来る部分）に金属シートを貼り付けた構造にする。将来的な廃棄を想定すると金属シートは一般の人でも取り外し（ケースの内側もしくは外側のポケットに入れる等）がしやすい構造が望ましい

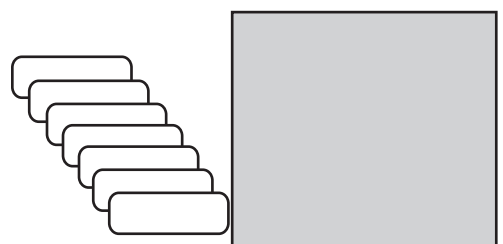
付属品として、ホワイトボード状になっているマグネットシートを準備する。アイテム別に記入すれば紙全体を書き直す必要がない。賞味期限が短い順に並べ替える事も可能。ホワイトボードなので水性ペンで何度でも修正が可能。

ホワイトボード状の
マグネットシート



金属板

既存の衣装ケース（収納ボックス）で使用したい需要に対応するために後付けセットも想定する。



裏面を両面テープでケースに装着